

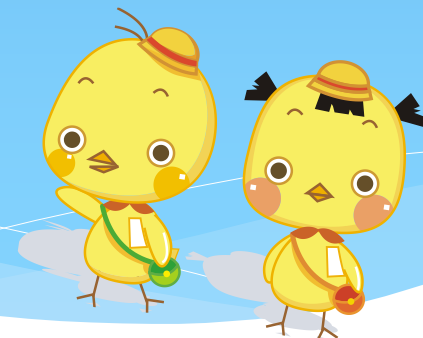
平成30年度 横須賀市幼稚園教育課程研究会

人とのかかわりを大切にした保育の充実

～小学校教育との  
充実した連携のあり方～

横須賀市立諏訪幼稚園

平成30年9月5日(水)



# 諏訪幼稚園の環境

創立65年（昭和28年に設立）

園長・教諭(3名)・教育支援介助員(5名で2～5名常時)

小学校と同じ建物内に併設。2年保育で2クラス 現在32名



保護者が送り迎えの諏訪幼稚園



園庭で遊ぶ子どもたち

# 高層住宅に囲まれた幼稚園周辺



中央駅周辺



幼稚園周辺



# ～自然を求めて～ 園外保育

## 栽培活動



くりはま花の国



# 諏訪幼稚園の教育目標

\* 主体的に活動する子どもの育成を目指して

- 元気で明るい子
- 思いやりがあってよく遊べる子
- 自分の思ったことが、はっきり言える子

# 諏訪幼稚園の教育ビジョン

生き生きと活気がある  
幼稚園

一人ひとりに寄り添った  
幼稚園

自己発揮できる  
幼稚園

創造性に富む  
幼稚園

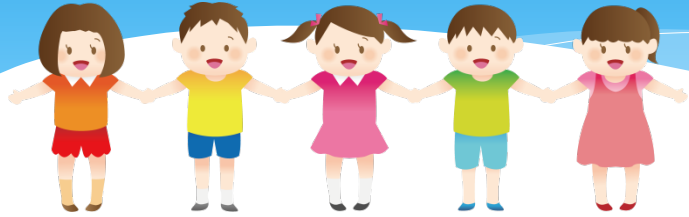
心の充実を感じる  
幼稚園

開  
か  
れ  
た  
幼  
稚  
園

人とのかかわりを大切にする幼稚園



# 幼小中連携の教育活動の推進



豊かな心の育成

## 諏訪小学校との交流活動

- ◎幼小連携担当者が中心となって活動
- ◎合同指導案を作成  
(ねらい・内容の把握・実践)
- ◎休み時間などの  
自由な交流も大切にする

## 常葉中学校との交流活動

- ◎行事や教科担当者との  
事前の打ち合わせ
  - ☆体育祭
  - ☆家庭科授業
  - ☆職業体験 など
- ◎収穫物のプレゼント
  - ☆中学校→ジャガイモ・サツマイモ
  - ☆幼稚園→トマト・ゴーヤ など

# 研究テーマ設定の理由

小学生・中学生 との交流を通して

教師・子ども 子ども・子ども 保護者 地域の方  
一緒に遊び、認め合い、感動を共有する

自信を持ち、いろいろなことに自発的に取り組み、  
生き生きと活動する

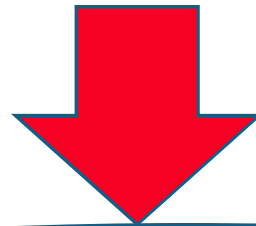
主体的に活動する子ども

「生きる力」を身につける



**異年齢交流活動を充実させることにより  
児童と幼児の豊かな心の育成を目指す**

**感動を共有する保育・教育を目指し、  
幼・小の連携、交流を深める**



**人とのかかわりを大切にした保育の充実**  
～特に小学校教育との充実した連携のあり方～

# 研究テーマ実現のための手立て(1)

(1) 幼小連携担当者を年度始めに決める。

交流年間計画を立てる。(資料1・2)

① 学びや発達のつながりを考える。

◎ねらい、交流による経験や育ちを明確にする。

◎教師同士の相互理解を図る。

◎低学年担任との話し合いを密にとる。

② 子どもの育ちを分析し、全職員で共有し  
共通理解をする。



# 研究テーマ実現のための手立て(2)(3)

## (2) 接続期の連携・交流の充実を図る (資料3)

① 接続期(卒園期・入学期)を配慮した取り組みを行う。

## (3) 子どもの育ちを記録する。

① 交流記録をとる。(写真、メモ)

② 幼小合同指導案を立てる。(資料4)

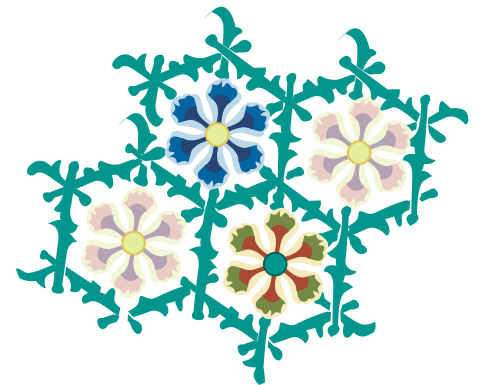
◎ 学年・ねらい・活動の流れ

◎ 教師のかかわり・配慮事項

③ 活動の見取りをする。

・ 情報交換・相互の学びの話し合い

・ 振り返り・考察



# 平成29年度 5年生との交流実践

## ① すわっこなかよしタイム(1回目) ～ようちえん探検・グループで遊ぶ～

5月22日 1組と年中組  
5月25日 2組と年長組

## ② すわっこなかよしタイム(2回目) ～学校探検・グループで遊ぶ～

6月26日 1組と年中組  
6月29日 2組と年長組

## ③ すわっこなかよしタイム(3回目) ～カレーを作ろう～

10月2日 1組と年中組  
10月5日 2組と年長組

## ④ すわっこなかよしタイム(4回目) ～すわっこミニ運動会～

12月19日 1組と年長組  
～クリスマススポーツ～

12月20日 2組と年中組

## ⑤ すわっこなかよしタイム(5回目) ～おまつり～

2月8日 合同

## ⑥ 英語の歌を一緒にうたおう(6回目)

2月23日 3時間目 1組と年中組  
4時間目 2組と年長組

# 5年生との交流のねらい

## 幼稚園のねらい

- 身近な5年生に親しみの気持ちを持ち、一緒に活動する楽しさを味わったり、信頼感を持って遊んだりする。
- 5年生に支えてもらって、自信をつけ、自分でもできるという自立心を持つ。
- 繰り返して交流をして、情緒を安定させ、協調性や思いやりの気持ちなどを高め、人とかかわる力を養う。

## 5年生のねらい

- 園児と交流していく中で、お互いの気持ちやかかわり方の変化に気づくことができる。
- 園児だけでなく、同じグループの5年生同士のかかわりの変化に気づくことができる。
- みんなで協力しながら活動内容を考え、自主的に行動する。
- 最高学年としての自覚を高め、下級生に対して、積極的にかかわる。

# 1回目~6回目の交流の場面と見取り

## 1回目の交流

すわっこ仲良しタイム

～幼稚園探検～



「ぼく、あそびたくなーい。」



「ぼく、何していいか、わからない。」

“緊張マックス。”  
園児と5年生が固まっています。



## 2回目の交流 すわっこ仲良しタイム ～学校探検～

園児は、同じメンバーで  
安心。ホッと甘えて  
います。



学校探検で  
あちこち回って  
います。

5年生の膝の上で  
話を聞いています。



5年生の教室のポストに  
手紙を入れています。

「ぼくのお姉ちゃん  
読んでくれるかな。」



# 3回目の交流 カレーを作ろう



「何カレーにしようかな？」



「このにんじん。最高においしいからね。」  
と言われ最高の笑顔。



「シーフードカレーだから  
えびのせるんだ。」

「カレー粉  
どれにしよう？」



「わたしたちのカレー  
おいしいよ。世界一。」



# 4回目の交流 すわっこミニ運動 クリスマススポーツ

「どうやるの?」と  
5年生にお手本を見せて  
もらってチャレンジ。



「がんばれー」と  
5年生がずっと応援して  
くれています。



「上手だね。」と  
5年生に褒めてもらって  
ルンルン♪

「ぼくもできたあ。」



「いっぱい遊んで楽しかった  
です。ありがとう。」と  
5年生の教室にお手紙を  
届けました。

## 5回目の交流 すわっこ仲良しタイム おまつり



「好きなスタンプ  
選んでね。」



「チョコバナナの  
トッピング、楽しいね。」

「お兄ちゃん、ありがとう。」と手紙と  
手作りのストラップを渡しています。



自分の好きな魚を  
釣ると、5年生が、  
さばいてお寿司を  
作ってくれました。



# 6回目の交流 英語の歌を一緒に歌おう



「振りがかわいい。」  
と言いながら楽しそうに英語の  
歌の振り付けを練習しています。

「ぼくたちも知ってるよ。  
この歌。」  
「うん、聞いたことあるね。」



# 交流を通しての育ちや学び

## 園児

- 人に親しみの気持ちを持つようになった  
「社会生活との関わり」
- 小学生に憧れの気持ちが芽生えた  
「自立心」「豊かな感性と表現」
- 遊びを楽しみ、自分たちの遊びも広がった  
「数量・図形、文字などへの関心・感覚」  
「思考力の芽生え」「協同性」  
「道徳性・規範意識の芽生え」
- ありがとうの気持ちを伝えたり、手紙を書いたり、字を書こうとする意欲が出てきた  
「数量・図形・文字等への関心・感覚」  
「言葉による伝え合い」
- 励まし誉めてもらって、自信がつき初めてのことにチャレンジするようになった  
「自立心」「協同性」
- 交流を重ねることで、安定した情緒の中で遊び、自分を発揮したり、思いやりを持つことができるようになった  
「自立心」「協同性」  
「豊かな感性と表現」

## 5年生

- 人の気持ちに添えるようになった
- 園児の接し方や声のかけ方を工夫をしたり、見守る力がついた
- 皆で協力したり、分担しながら活動を進めることができるようになった
- 友達の良い所が発見できた
- 自分たちの成長を感じることができた
- 高学年としての自覚がしっかり芽生えてきた。

刺激し合って育ったもの

『生きる力』を身につける

# まとめ（子どもの姿を通して）

## (1) 人に対して親しみの気持ちを持つ

- ① 最初、泣いていた園児や興味を示さなかった園児たちも、交流を重ねるうちに、心を開いて安心して遊ぶようになった。
- ② 5年生が憧れの存在となり、親しみの気持ちを持ってかかわれるようになっていった。交流を楽しみにする姿がたくさん見られた。
- ③ 幼稚園からもお礼に歌を聞いてもらったり、手作りプレゼントを渡したりして、互いに親しみを持って楽しくかかわることができた。
- ④ 交流後も5年生が遊びに来たり、園児との手紙のやり取りをしたりして、子ども達の距離が縮まり、親睦が深まっていった。

## (2) 自信を持って主体的に活動する

- ① 1年間を通して計画を立て、園児や5年生の実態に添って活動した。子ども達の気持ちを第一に活動することで、充実感を感じたり、次回への期待を持ったり、次への活動に生かすことができた。
- ② 園児は、5年生との活動から刺激を受けて、遊びが広がったり、友達とも意見を出し合って遊べるようになった。自信を持って積極的に取り組めるようにもなった。未就園児と遊ぼう会では、5年生の姿や遊びが取り入れられたものであった。
- ③ 「ありがとう」の気持ちを手紙に書くと言って、手紙を書くことにチャレンジしたり、5年生の教室のポストに入れに行ったりと、今まで消極的だった園児も自発的に活動できるようになっていった。

### (3) 幼小と連携を進める上で大切にしたいこと

- ① 交流計画を立てる。(計画的・継続的に無理のない交流をする)
- ② 交流前後に話し合いを持つ。  
幼小連携の必要性について、共通理解を持つ。  
振り返りも大切に、次の活動に生かせるように話し合う時間の確保に努める。
- ③ 子ども達の思いを大切に、共に楽しみ共感できる体験となるようにする。
- ④ 交流活動のきっかけ作りは、幼小の教師が必要感を持って、環境を整え準備する。
- ⑤ 幼稚園教師からも、小学生と園児の連携が充実するように、通信など発信する。
- ⑥ 園児や小学生の育ちを大切に、次年度の先生方に引き継ぎ、全職員で見守る。  
互いにどのように高め合っていくかを話し合い、長い目で見守っていく。
- ⑦ 滑らかな接続のためにも、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを作成したい。
- ⑧ 保護者に積極的に交流活動の様子を通信などで伝え、共に子供の成長を喜ぶ。
- ⑨ 円滑な接続のためにも、教師が子ども達に両者でかかわり合う場面を作り、子ども理解に努め、教師間の理解を深めていきたい。

## (4) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

交流の場面で培った力は、10の姿につながるので、  
小学校でも10の姿を踏まえて、引き続き育ててほしい。



### 幼児期の終わりまでに育って欲しい姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範  
意識の芽生え

社会生活  
との関わり

思考力の  
芽生え

自然との関わり・  
生命尊重

数量・図形  
文字等への  
関心・感覚

言葉による  
伝え合い

豊かな  
感性と表現

小学校教育になめらかに接続